

## 第Ⅳ期 渋谷川・古川流域連絡会議事録（第5回）

開催日時 平成22年7月22日（木） 13時～16時30分  
 会議 : 13時～14時30分  
 見学 : 15時30分～16時30分

開催場所 港区青山生涯学習館 3F（学習室兼レクリエーションホール）

### 【議 事】

平成22年7月22日（木）13時から、港区青山生涯学習館3F（学習室兼レクリエーションホール）において第Ⅳ期渋谷川・古川流域連絡会（第5回）を開催しました。都民委員8名、行政委員16名が出席し、河川整備計画等の議題に対して意見交換を行いました。

また、会終了後、「古川地下調節池インフォメーションセンター」と調節池工事現場の見学会を開催しました。

### 【配布資料】

資料1	議事次第
資料2	座席表
資料3	流域連絡会委員名簿
資料4	前回までの開催の経緯、及び前回議事録
資料5	平成22年度 渋谷川施工予定箇所
資料6	平成22年度 古川川施工予定箇所
その他資料	（仮称）渋谷川上流部意見交換会について

■ 議題（1）前回までの連絡会の経緯及び概要について事務局より説明がありました。

### 【意見交換】

（都民委員）

ホームページで、この会で何をやっているか、そういうものを皆様に発信していくというのはとてもいいことと思います。

（座長）この流域連絡会は、渋谷川と古川が一緒になっているところに価値があると思います。

■ 議題（2）渋谷川の河川整備について（平成22年度渋谷川施工予定箇所）

（3）古川の河川整備について（平成22年度古川施工予定箇所）

資料5、6に基づいて第二建設事務所、第一建設事務所より説明がありました

### 【意見交換】

（行政委員）

恵比寿東公園前の黄色で塗ってあるところは完成しました。あと恵比寿東公園の下流の部分は、今年度の下半期に施工していく予定です。あと上流の方の人道橋から渋谷橋の間はツタによる緑化を考えています。

（行政委員）

今年度は、狸橋から五之橋間の中で、地下調整池の取水口施工予定箇所を重点的に整備していくことにしています。

（都民委員）

この写真を見る限り、真っ白な護岸がずっと両側にあって、これはコンクリートの積み上げじゃないのでしょうか。

（行政委員）

これは型枠自体が凹凸の型枠を使っておりまして、ブロックの積み上げではございません。

（都民委員）

火山岩の施設断面を表した貼りたてはどうして考えなかったのですか。

（行政委員）

通常昔の古い護岸ですと、コンクリートの表面がつるつるな状態の物が多かったと思うのですが、まずそういうものを解消しようということで、今型枠で作ったものを使っています。もう1点は表面に凹凸がありますので、つるつるの護岸よりもコケとかそういう物が生えやすい状況にあると考えて進めてきました。

(座長)

同じ材質のもので、かなり前に施工した部分はあるのでしょうか。

(行政委員)

上流側の天現寺橋から狸橋、亀屋橋間です。

(都民委員)

前の効果を確認しないで、その優劣が判ってやっているのか、無意識にやっているのか。

(行政委員)

都民委員のご指摘の事は非常に重要な視点だと思います。一方、この使う材料がコンクリートや多孔質の溶岩パネルなど色々な材料を使っていますが、正直言って判っていないです。

(都民委員)

今の事ですけど、普通素人が考えるとコンクリートよりは、火山岩のパネルの方が多様性の生き物が生きる可能性が高いのではないかと。

(行政委員)

天現橋から狸橋の間はコンクリートの護岸で既に出来上がっており、20年度から私どもで狸橋から下流の整備を進めているところですけど、例えば、この狸橋から溶岩パネルを張ったとしますと、溶岩パネルというのは茶色のような黒いようなそういう色です。それだと、上流のところを境に大きく変わってしまう、そういう一貫性がない様な仕上がりになってしまう部分を考えて、それで同じような仕上げを選んだという経緯がございます。ただ、生物とか植物とかそういうものを考えれば、溶岩パネルの方が生育しやすい様な状況にあるということです。

(座長)

ちょっと経過を見たいですね。実験の結果については、逐一、会の時にご報告をお願いしたいと思います。

#### ■ 議題 (4) その他

- ・ 古川地下調節池の事業効果（浸水範囲軽減）について説明がありました。

#### 【意見交換】

(行政委員)

古川地下調節池を整備することによって、どの位の浸水面積が減っていくのかのお話をします。氾濫を現地で再現する訳にはいかないのですが、その時の観測所を何点か持っており、氾濫のモデルで再現をして、15.6haの浸水面積がどの位減るかということ、約6割程度減になる。

(都民委員)

都も色々な面で努力されて、河川の事、下水道の事両方で、色々改良して頂いているようで大変感謝しています。

(座長)

東京都の中で対策も含めて調整して頂いて、我々都民に知らせて頂く段階では、こうなればこうなりますということを明確に出して頂きたいと思います。

(行政委員)

下水道局としても、河川の下流から順次上流に向けて整備していきます。

#### ■ 議題 (4) その他

- ・ (仮称) 渋谷川上流部意見交換会について説明がありました。

#### 【意見交換】

(行政委員)

渋谷駅の開発に伴って、下流側の東急東横線が地下になるということで駅の高架の部分と東急の渋谷駅が空いてくるので駅前のところの開発と併せて周辺の街づくりが動いてきた。この渋谷川の川づくりを具体的に考えて行きたいということで、その第1歩として地元の方々の意見を反映させながらどういう川づくりをしていくのかを考えて、この意見交換会を設置したということです。

(都民委員)

この流域連絡会とこの上流部意見交換会は、どういう関係になるのですか。

(行政委員)

その地域に直接関係するところについては、こういった説明会で対応し、この流域連絡会については、経過報告させて頂き、意見をもらう形になると思っております。

(行政委員)

意見交換会の中では、細かいことまで決めるということではありません。

意見をいってもらったりして会を進めていこうと思っております。

(副座長)

流域連絡会に対して意見交換会の情報提供をします。又アンケート用紙も出しますという話だったのですが、是非とも意見交換会だけではなくてこの流域連絡会の中でも意見を聞いて頂ければと思います。

(座長)

先程来、総合的に勘案するという主旨で話していますので。

(河川部)

意見交換会の意見だけを踏まえて、川づくりを進めて行くということではなくて、流域連絡会開始の頃から河川環境整備について、川づくりについての意見を頂いて河川整備計画とされています。

(事務局)

次回の日程ですが、調節池のイメージがよくわかるよう、既に完成している環七地下調節池を11月頃見学に行きたいと思えます。

11月上旬から池内の掃除を行うので、中旬以降が良いのではないかとのお話しでした。それでは、11月18日(木)14時から開催予定とします。(※会議後に11月19日(金)14時からに変更しますとの説明有)

これから、現場の方に向かいますので、15時30分に現地集合をお願いします。

#### 古川地下調節池インフォメーションセンターと調節池工事現場見学会

流域連絡会終了後、古川地下調節池インフォメーションセンターと調節池工事現場の見学会を以下のとおり開催しました。インフォメーションセンターと調節池工事現場見学会を2班に分かれて行いました。

説明は、東京都第一建設事務所と工事施工会社の担当者によって実施されました。

- |        |                          |
|--------|--------------------------|
| 1. 日時  | 平成22年7月22日 15:30~16:15まで |
| 2. 参加者 | 1班 都民委員、建設局委員、事務局        |
|        | 2班 港区、渋谷区、環境局委員、事務局      |